

令和2年度第1回逗子市食育推進懇話会ZOOMミーティング 概要

日 時 令和2年7月9日（木）15時00分から16時00分

場 所 逗子市役所5階 第2職員ホールにてZOOM使用

出席者

【アドバイザー】◎佐野喜子

【事務局】黒川副主幹、後藤、柏木、伊藤

議事概要

1 議題

事前に資料を配布の上、ミーティングを開催。

(1) 令和元年度逗子市食育事例集に係る内容確認について

ア 事務局からの提案

事前送付した「令和元年度逗子市食育事例集」について、事例集の内容や食育の進捗状況等についてメンバーからの意見、アドバイザーからの意見を伺いたい。

イ メンバーからの意見

別紙参照

ウ アドバイザー講評

自由記載のため、メンバーの意見内容が取り組みをたたえるような感想となってしまう。項目立てをした設問が必要であった。

エ 事務局

事例集については、食育推進計画担当者会議にて各課の照会を経て、8月に公表する。

(2) 重点目標の推進について

ア 事務局からの提案

今年度の重点目標である「主食・主菜・副菜を組合わせた食事をほぼ毎日1日2食以上喫食している市民の増加」について、それぞれの活動でこのテーマについて触れる機会があるか、どのようにテーマを伝えているか、また伝えていない場合の理由や今後考えられる機会等について意見交換を行いたい。

イ メンバーからの意見

・別紙参照

ウ アドバイザー講評

- ・コロナ禍での食育推進としては、市の事業を通じて情報配信をしていくしかない。広報的な役割を現在担って下さるのはJ Aよこすかさんでしょうか。「旬カレンダー」を配ってもらう、ポスターを貼ってもらう、横須賀だけでなく逗子でもやっていますよ！と、アピールして頂く。可能なら「旬カレンダー」に食育推進マーク（しらわかちゃん）を付けて配布する等、市民だけでなく周辺の市町にもアピールをしていくこともできるのではないかと。
- ・保健福祉事務所の桜井氏からも配布するチラシや媒体に共通イラストマークや事業にアイコンを付けるという、市民に一目でわかる工夫の案があり、行政でよく取り入れられている。
- ・ホームページにて情報発信していくとのことであるが、画面が見にくい。PDFファイルを開かないと内容も分かりにくく、ページの工夫が必要。主食のレシピであるなら、ごはんマークなど付けるとわかりやすい。そんな工夫があれば字を読まなくても入れる。チラシには所属と問い合わせ連絡先、作成日なども載せておくのが望ましい。

エ 質疑応答

① 共通イラストマーク、ホームページについて

〈事務局〉

事務局でもマークを検討していたが、「主食・主菜・副菜」にこだわっていたので決まらなかった。「しらわかちゃんマーク」でよければマークをつけることは可能である。

〈アドバイザー〉

「しらわかちゃんマーク」を付けるのならば、このマークが「逗子市食育推進キャラクター」ということをアピールしなければ意味がない。

ホームページについてもカテゴリーや魅力的に見せる編集をしないとワンクリックが来ない。興味を持って見てもらえるようにタイトルの付け方も工夫する。

魅力的なページにするために、漁師さんのインタビュー、いい食材の写真。教室に人が呼べないのであれば、魚をさばく動画を撮らせてもらいホームページにアップする。教わって、実際に魚をさばく栄養士の動画を漁師さんに採点してもらうのも面白いかもしれない。またはJ Aよこすかさんに取材に行く。野菜を長持ちさせるには？最後までどう使う？など市民が知りたい情報を発信するなら、自然に関心を持ってもらえるのではないかと？自分たちが出て行って情報を伝える。見てほしい情報をQRコードで付けて置く。

② 若い世代・コンビニの利用が多い世代へのアプローチについて

〈事務局〉

アプローチとしては、コンビニ商品での「主食・主菜・副菜」の上手な組合せなどの情報提供を検討したい。

〈アドバイザー〉

コンビニでの情報提供については、コンビニに行く人は時間短縮もあり、ほかの店には行かないので、その店の中で選べるものでないと手が伸びない。メーカーが決まっているなら、その店に必ず置いてある商品を組み合わせるようにしないと仕方がない。

③ 子ども食堂との関わりについて

〈事務局〉

子ども食堂にかかわるメンバーより、知識が欲しいとのメッセージがあったので、今後の活動として、対団体で栄養士と、集まれない中での活動をどうしていくかなど、ZOOM会議などで検討できるかもしれない。

〈アドバイザー〉

子ども食堂の支援についてはすぐにできるので具体化していくとよい。こちらで持っている情報と、あちらの情報交換ができるとよい。子ども食堂のメニューストックを用意しておいたり子ども食堂のコーディネーターなど検討していく時間にすれば効果的と考える。ニーズ把握は必要。

④ 「主食・主菜・副菜」の推進方法について

〈事務局〉

「主食・主菜・副菜」について、食育推進計画のリーフレットのQRコードからホームページの食育ページに入ることができるので、市内の小中学校の1年生に配布したいと考えている。今年度の食育推進目標と、取り組むことでのメリットを記載したチラシを添付したい。

「主食・主菜・副菜…」を増やすことの割合について、アンケートを取るとして、どれくらい回答数が必要なのか？今年度は事業もほとんどできていないので、アンケートの数も集められない。来年度の目標も引き続き「主食・主菜・副菜…」としたいと考えている。レシピコンテストの計画案もあるが、来年度に持ち越すこととしたい。

〈アドバイザー〉

アンケートについては、行政の人は平均にやろうとするが、ターゲットを絞って優先順位をつけ取り組んでも良い。必要性を感じてこの世代をターゲットにしたと説明ができるように。

色々な世代に聞いて、同じプログラムでも世代によって違うという結果がでるなら、その対策もできるので、それも良い。

来年度の重点目標について、テーマを同じにしてアプローチを変えるのも良いのでは。レシピコンテストができなければ、子ども食堂の人気メニューなどをネットに載せるなどしてはどうか？

⑤ 調理実習について

〈事務局〉

調理実習は、逗子市としては対策を講じて実施していく方向に進んでおり、状況を見ながらやっていきたいと思っている。

〈アドバイザー〉

調理実習については、どうしてもやらなくてはならない理由があるならばやるという選択肢はあるだろう。例えば、男性料理教室は「一人暮らしの男性のケア」という意味で救済事業という切り口であるならば実施可能ではないか？

何がリスクか、この時期に実施するという優先順位が成り立つなら考たら良い。

逗子は環境が良いのでオープンエアーでやれるのならやってもよいのではないか？大人であれば、夕方からの実施などもできる。

屋外での衛生教育なども実施できるが、屋外では設備がないので、実施者側のシミュレーションがかなり必要になる。

そこまでやっても、感染者が出てしまったというのなら、それなりの申し訳がたつ。

4 事務局より

ホームページの編集に関して早急に確認して対応する。今年度は情報発信にて土台作りをしていく。次回、7月29日（水）の食育推進計画担当者会議にて庁内の協力を仰ぐ。

5 閉会